

福岡赤十字病院 広報誌

2019.4 春号

Cross & Heart

vol.39

Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

Feature 特集

肺がん治療最前線

肺がん治療は個別化の時代へ

就任・退任のご挨拶

Topics

耳鼻いんこう科再開

Information

時間外・休日診療体制の変更のお知らせ

Introduction 登録医のご紹介

四つ葉在宅クリニック

別府外科医院



日本赤十字社

福岡赤十字病院

病院の理念

地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療を

基本方針

1. 質の高い安全な医療
2. 救急医療
3. 国内外の医療救援活動
4. 地域連携
5. 教育・研修・研鑽
6. 患者・職員満足度の向上

副院長 就任のご挨拶



副院長（感染症内科）

石丸 敏之

このたび、2019年4月1日より感染症内科部長、感染防止対策室長に加えて、副院長を拝命することとなりました、感染症内科の石丸です。2011年10月より当院に赴任し、新たに感染症内科を立ち上げさせていただき現在に至っています。当初は暗中模索の状態でしたが、最近は診療科の役割が明確となってきたのを感じています。最も重要な仕事は他科からの感染症治療に関連した相談対応で、抗菌剤の選択、難治性感染症の治療等について提案させていただいています。最近では術後感染の発生率減少を目指して関連部署の方々に集まっていたいただき調整も行っています。

当院の感染症診療を充実させ、他疾患で入院された患者さん方の総合的な経過、予後の改善に貢献できることを目標に頑張っていきたいと思いますので、これからもお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

新任診療科部長のご挨拶

2019年4月、新たに8名が診療部長に就任いたしましたのでご挨拶申し上げます。

心臓血管外科部長

小江 雅弘

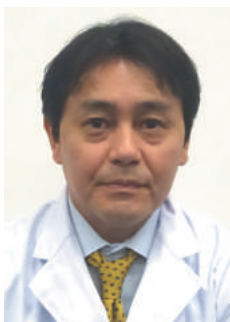
これまで、心臓弁膜症の弁形成・弁置換術、虚血性心臓病の冠動脈バイパス術・左室形成術、大動脈瘤・解離の人工血管置換術・ステントグラフト内挿術、末梢動脈疾患のバイパス手術などを経験してきました。いずれも比較的侵襲の大きな手術ですが、可能な限り低侵襲な方法を検討し実施していきたいと思います。また、術後早期より積極的にリハビリを開始し、早期退院が可能となるように支援していきたいと考えています。



循環器内科部長

向井 靖

これまで循環器全般に従事し、心臓カテーテルの経験は10000件以上です。特に不整脈に対するカテーテルアブレーションを専門としており、あらゆる不整脈病型および難治症例の治療経験も多数あります。治療の適応（本当に必要か）と治療目標を患者さんと共有しながら診療を進めてまいります。これまでの知識と経験を生かして、地域の皆さんの健康維持に貢献出来ればと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



第二肝臓内科部長

西澤 新也

研修医時代が福岡日赤だったためか、興味の対象は一次～二次医療、地域連携、長期フォロー、末期医療、救急、集中治療、災害対応などになりました。以降、日赤での勤務を中心に各施設でこれらに携わってきました。現在は肝臓内科として、肝・胆・膵・脾・腹腔などの内科領域を担当させて頂いております。今後の社会情勢を念頭に置きつつ、地域の皆様に良質の医療を提供できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



脊椎外科部長

加藤 剛

脊椎に関する診療に携わっており手術的加療も行っております。また患者さんへの体の負担が軽減するような低侵襲手術への取り組みにも着手しています。手足のしびれ、細かい動作のしづらさ、歩行時の脚の痛みや歩行障害等の症状でお困り場合、脊椎疾患の可能性も考えられます。治療は投薬や保存的加療が原則ですが、症状が緩和しない場合には的確な手術的加療が奏功する事も多いので当院までご相談頂ければ幸いです。



歯科部長

樺山 哲郎

一般歯科治療、口腔ケア、智歯抜歯等の口腔外科的治療全般に長く携わってきました。口腔ケアにおいては、当初脳血管障害の患者さんが中心でしたが、更にこれからは、周術期口腔管理、誤嚥性肺炎、血液腫瘍の患者さんにも力を入れていきたいと考えております。また、これまで同様口腔外科的処置にも力を入れていきたい所存です。皆様よろしくお願い申し上げます。



第二放射線科部長

松延 亮

これまで九州大学の関連病院や福岡大学病院等で放射線治療全般の診療を経験し、昨年は九州国際重粒子線がん治療センターにて、肺がんや骨軟部腫瘍の重粒子線治療に携わっていました。近年放射線治療技術の進歩により、がんの高い線量を集中させ、かつ合併症を抑えることが可能となっています。皆様にとって最善の治療と一緒に考え、提供していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



退任のご挨拶

第二消化器外科部長

上田 純二

これまで肝・胆・膵疾患の外科治療全般に携わってきました。肝・胆・膵疾患における手術は高難度手術となることも少なくありませんが、安全性に十分配慮しながら開腹手術のみならず腹腔鏡下手術にも取り組んでまいりました。また、膵疾患に多くみられる低悪性度腫瘍や慢性膵炎に対する外科治療なども頑張っています。地域の皆さんに安心と満足を提供できる医療を目指していきますのでよろしくお願い申し上げます。



第三消化器外科部長

井上 重隆

医師になった25年前、守備範囲の広い医師になることを目標として外科医となりました。これまで臓器移植、血管外科、外傷外科、肝胆膵外科、大腸外科、海外医療救援など様々な分野を手がけました。キャリアが四半世紀に達した昨年、**大腸癌治療のさらなる低侵襲化のためにロボット手術**による高精度の直腸切除術を開始しました。さらに**病院の国際化**を進め、スムーズな外国人患者の受け入れができる病院となる様、改革を進めています。



（前）副院長

目野 宏

1995年9月に循環器内科に赴任して、心臓カテーテル検査およびカテーテル治療を当院にて開始いたしました。1999年には心臓血管外科チームが加わり、殆どの循環器疾患の治療が当院で完結できるようになりました。近年の高齢化社会において、心不全症例が年々増加しておりますなか、多職種で連携を取り合って、心臓リハビリテーションを行うことができるようになりました。

2016年から医療連携に係わり、病診・病病連携を推進してまいりました。地域の先生をはじめ医療関係者の方々には大変お世話になりました。今後更なる連携、交流が充実することを期待しております。

引き続き、福岡赤十字病院にご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

呼吸器内科 河口医師
に聞きました！

肺がんの発見から検査の流れ

肺がんが見つかるきっかけとしては、健診などでX線異常を指摘される場合や、咳・息切れなどの症状で受診されて見つかる場合があります。時には腰痛や手足の麻痺など一見肺とは関連のない症状で受診して肺がんと診断される場合もあります。

胸部X線で異常が見つかった場合は次にCT検査を行います。肺がんが疑われれば組織を採取して診断を確定させることが必要で、多くは気管支鏡検査を行います。気管支鏡検査で診断がつかない場合はCTガイド下生検などの他の検査を行います。肺がんには腺がん、扁平上皮がん、小細胞がん、大細胞がんといった組織型があり、この組織型とがんの広がり(転移の有無)を評価して病期(ステージ)を決定して治療方針を決めます。

早期の場合は手術や放射線治療を行い、進行して手術が難しい場合は抗がん剤などの薬物治療や放射線治療と薬物治療を組み合わせた治療を行います。

治療薬の進歩

20年ほど前は進行肺がんに対する薬物治療の成績は芳しくなく、治療をしても数か月の延命効果をえられる程度でした。15年ほど前に分子標的薬という種類の薬剤が発売され、治療効果は飛躍的に伸びました。分子標的薬はEGFR、ALK、ROS1、BRAFといった遺伝子に異常があることで肺がんになった患者さんに使用する薬で、高い治療効果が期待できますが、全ての肺がん患者さんにこの遺伝子異常が認められるわけではないので検査で調べる必要があります。

さらに昨年ノーベル賞を受賞された本庶先生の研究で注目された免疫チェックポイント阻害薬も肺がんの治療で用いられています。この治療薬はがん細胞が免疫細胞にかけている抑制作用を阻害

することで抗腫瘍効果を得る薬剤で、従来の抗がん剤とは作用が異なる点からも非常に注目を集めています。この薬剤も全員に効果があるわけではないのですが、2018年末からは従来の抗がん剤と組み合わせての治療も始まり、今後治療の発展が期待されます。

組織型や遺伝子型による個別化治療

従来肺がんの薬物療法は、肺がんの組織型などで治療薬を決めていましたが、現在の肺がん薬物療法は、そこに遺伝子の検査なども組み合わせて一人一人の肺がんのタイプに対して、より最適な治療法を決定して行なっています。おそらく今年中には、現在よりももっと簡便で多くの遺伝子を調べる検査方法が臨床の現場で用いられるようになる可能性があり、そうすると今以上に一人一人に適した薬物治療を行えるようになるかもしれません。

治療の選択肢が増え、様々な情報をインターネット等で容易に入手できることは素晴らしいことである反面、自身にとって最適な治療が何か悩めることもあるかと思います。当院では我々医師のみならず、がん診療に携わる認定看護師もいますので治療について気になることがありましたらご相談ください。

薬物療法	
殺細胞性抗がん剤 (従来の抗がん剤)	がん細胞の増殖を阻止する。細胞分裂の活発な正常細胞も障害を受けるため、副作用が発現。
分子標的薬	がん細胞の特定の分子をターゲットに攻撃する薬。特定の遺伝子に異常があるタイプの肺がんに効果的。
免疫チェックポイント阻害薬	がん細胞による免疫細胞の抑制作用を阻害する。抗がん剤との組み合わせ治療も可能。

呼吸器内科部長 河口 知允

2002年 九州大学卒
日本内科学会 認定医・総合内科専門医
日本呼吸器学会 専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医



呼吸器内科 河口医師・呼吸器外科 小島医師が説く

肺がん治療最前線

肺がん治療は個別化の時代へ

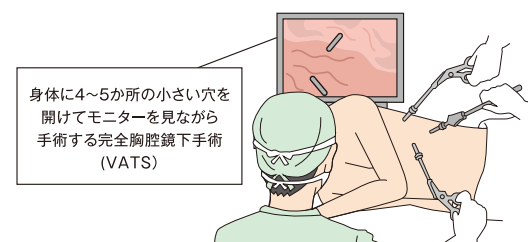
呼吸器外科 小島医師
に聞きました！

肺がんの手術

外科では主に肺がんに対する手術治療を行います。術前に正確な病期診断を行い、原則的に根治可能なステージⅠ、ⅡおよびⅢ期の一部が切除の対象となります。標準的な手術は腫瘍が存在する肺葉を一つ切除し所属のリンパ節を郭清する肺葉切除ですが、腫瘍の大きさや部位あるいは患者さんの肺機能や全身状態に応じて区域切除などの縮小手術が選択されることがあります。また進行した肺癌に対しては耐術可能であれば他臓器の合併切除を伴う拡大手術を行います。

手術のアプローチについては最近では大きく皮膚を切開する通常の開胸手術は非常に少なくなってきました。ほとんどの場合、完全胸腔鏡下手術を行うことが可能です。低侵襲であり術後の疼痛も軽度で離床を早く進めることができるため、患者さんにとって非常にメリットが大きいと考えております。

さらに昨年4月からはロボット支援下の胸腔鏡下手術を保険診療として行うことができるようになりました。術者は患者さんから離れた操作サージョン・コンソールに座り、手術台にセッティングしたロボットアームを操作して手術を進めます。高解像の3D画像を見ながら手ブレなく手術器具を動かすことができるので、精密で安定した手術を行うことができます。術者の疲労も軽減されますので、ひいては患者さんの安全に寄与すると考えら



手術支援ロボットによる肺がん手術の様子(小島医師執刀)



呼吸器外科部長 小島 雅之

1989年 九州大学卒
日本外科学会 専門医・指導医
日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

れます。

福岡赤十字病院の肺がん治療の特色

外科スタッフだけではなく放射線科、呼吸器内科など関連する全ての診療科の医師が合同で協議し、正確な術前診断に基づいて手術・術後管理を行っています。手術に関しては患者さんの病状や耐術能を正確に評価し、切除範囲や方法(胸腔鏡下手術の選択など)をきめ細かく決定します。通常胸腔鏡下手術に加えて、当院には最新の手術支援ロボット「ダビンチ Xi」が導入されましたので、適応があればロボット支援下手術を行うことも可能です。手術後は看護スタッフとモニター機器の充実した集中治療センターで厳重に術後管理を行います。また最近では高齢の方の手術が増加しており、虚血性心疾患や糖尿病あるいは血液透析中の慢性腎臓病などを併存していることも多くなってきました。当院では臓器ごとに専門内科医師がいるため、複数の併存症を有する患者さんでも安心して手術を受けて頂くことができます。

これからの肺がんに対する外科治療

現在、術前に造影CT画像から血管構築を再合成することで、患者さん個々の肺血管の形態を把握した上で手術を行っています。またロボット支援下手術の登場で従来の胸腔鏡下手術に加えて新たな手術のアプローチが可能となってきました。術前の画像診断を術中に手術モニター上に投影し、確認しながら手術を進めることができる技術も開発されつつあります。今後はさらに一人一人の病状や全身状態に応じた“オーダーメイド”の外科治療が可能になると考えております。

Topics



2019年4月、耳鼻いんこう科 再開

耳鼻いんこう科は、2017年から常勤医師が不在となっておりましたが、今年の春から新たに3名の医師を迎え、再開することができました。

地域の医療関係者の方々や患者さんには、長らくの間ご不便をおかけいたしました。福岡赤十字病院の新しい耳鼻いんこう科を、どうぞよろしくお願いいたします。

〈 今月の表紙 〉

耳鼻いんこう科 左から：原医師、鈴木医師、高岩副部長

	月	火	水	木	金
高岩 一貴	○	○	交替制 (10時まで)	○	交替制 (10時まで)
原 奈津貴	午前中のみ			○	
鈴木 智陽	○	○		○	
非常勤医師					午前中

Information

時間外・休日診療体制の変更のお知らせ

昨年末に労働基準監督署の指導を受け、医師の病院内滞在時間の短縮を図ることとなったため、当院の時間外・休日の診療体制について、下記のとおり変更しております。

地域の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

■ 時間外・休日救急の診療体制

2019年4月1日

診療分野	救急車	紹介患者	ウォークイン (紹介状なし)
内科系	24時間体制で 受入可能	24時間体制で 受入可能	【平日】 17:00～23:00 【土・日・祝】 8:30～23:00
外科系			廃 止
産婦人科			【平日】 17:00～23:00 【土・日・祝】 8:30～12:00
小児科			【平日】 17:00～19:30 【土(祝日除く)】 9:00～17:00

地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

四つ葉在宅クリニック

Q 診療内容・特色について

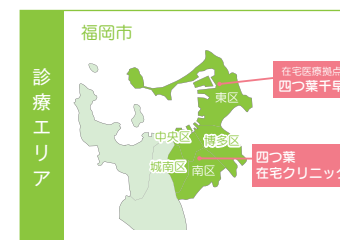
私たちのクリニックは、患者さんご家族がご自宅で安心して過ごしていただけるよう、緊急の際には夜間も含め24時間365日、しっかりと対応するようにしています。また、患者さんのさまざまなニーズを満たせるよう、皮膚疾患や創傷の処理、人工呼吸器が必要な方、がんの看取りの方など、幅広い疾患に対して診療を行っています。血液検査・エコー・心電図などの検査やがん疼痛の緩和治療、輸血などもご自宅で行うことが可能です。

Q 地域の方へ一言

患者さんがご自宅で自分らしく暮らしていくために必要な、さまざまな情報提供や連携担当者を通じた紹介なども可能ですので、外来通院が少しずつ困難に感じるようになってきた方や、ご家族・ご友人の中にそのような方がいらっしゃる場合には、お気軽に聞いていただければと思います。



▲ 胡 曉華 院長(2列目(中腰)右側)とスタッフの皆様



院 長 胡 曉華 先生
住 所 〒815-0075 福岡市南区長丘2-12-24
T E L 092-710-1300
F A X 092-710-1301
診療科目 訪問診療
診療時間 月～金 9:00～18:00
※緊急時は24時間365日、当番医が対応します。
休 診 日 土・日・祝

別府外科医院

Q 病院の特色

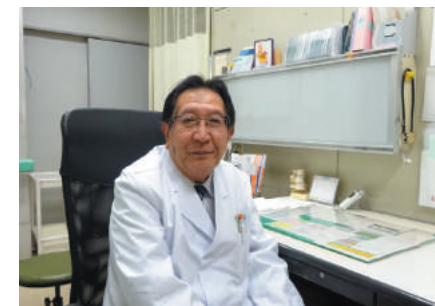
当院は常勤医2人、非常勤医1人(認知症専門)の体制で、一般外科、整形外科、胃腸科を中心に、がん検診や皮膚疾患の診療を行っています。

父の代から開業以来60年経過しておりますので、患者さんも2～3世代に渡って家族ぐるみで来院される方が多く、私共も家庭医としてプライマリーケアを主眼にいろいろな病状や健康相談にも対応できる様に心掛けております。そして、病状に応じてそれぞれの専門医療機関に御紹介する形を基本にしております。

また、最近では以前から要望が多い難治性の慢性腰痛や種々の関節痛、不定愁訴に対する漢方治療や認知症のご相談にも対応出来る様にしております。

Q 地域の皆様へ一言

最近はインターネットの普及で様々な病気や薬剤等の情報が自分で検索出来る様になり、大変便利な時代になりました。その一方で、自分の症状に照らし合わせて過度な心配をする事になり、永く一人で悩んだ末に来院される方も増えてきております。現代は医療機関の専門性が高くなってきており、まずはかかりつけ医に相談し、必要に応じて専門病院や総合病院への紹介を受ける形が望ましいので、皆様も日頃から色々なことを気軽に相談出来る、かかりつけ医や家庭医を持っておく事をお勧めします。



▲ 別府 和茂 院長



院 長 別府 和茂 先生
住 所 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-14
T E L 092-531-3502
F A X 092-531-3505
診療科目 外科、胃腸科、整形外科、皮膚科
診療時間 月・火・水・金 9:00～12:00 14:00～18:00
木・土 9:00～12:00
休 診 日 日・祝

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

2019年4月

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	居原 毅	○	○				内科一般・生活習慣病	
	浦 和也			○	○		睡眠時無呼吸症候群	
	総診当番医	○	○	○	○	○	※当番医：内科系医師による交替制	
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○			副院長
	平川 克哉		○		▲			部長
	工藤 哲司		▲	○				副部長
	近藤 雅浩	▲				○	消化管(食道・胃・小腸・大腸)	
	野村 亜貴子				▲			
	今津 愛介		▲		○			
	吉原 崇正	○				▲		
腎臓内科	西田 美沙子		○		▲			部長
	瀧生 浩司	▲	○	○				副部長
	中井 健太郎	○	▲					
	高江 啓太		▲		○		腎臓	
	宿理 朋哉			▲		○		
	古原 千明	○						
	井上 めぐみ	▲						
糖尿病・代謝内科	友岡 知加							
	佐々木 伸浩		○			○		部長
	納富 威充		▲	●	●		糖尿病	
	川本 徹	○		▲	●			
	於久 真由美	●			○	●		
内分泌内科	高野 瑛子		●	▲		▲		
	中川 瑞穂		○	○		○	内分泌・糖尿病	部長
	向井 靖		○	○	○			部長
循環器内科	増田 征剛	○				○		副部長
	松川 龍一	○			○			副部長
	松浦 広英		○		○			
	栗林 祥子		▲			○		
	徳留 正毅			○			循環器	
	河合 俊輔	○						
	岡原 有秀					▲		
	豊原 貴之							
	中島 涼亮							
	非常勤					●		
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長
	河口 知尤	○			○			部長
呼吸器内科	恐田 尚幸	▲		○				副部長
	山下 翔		▲			○	呼吸器一般	
	常岡 祐希				▲			
	河野 拓							
肝臓内科	早田 哲郎		○	○		○	肝疾患一般	部長
	西澤 新也	○			○			部長
	東 具隆							
血液・腫瘍内科	娘野 修一							
	谷本 一樹		○		○	○		部長
	平安山 英穂			○			血液疾患一般	副部長
	河野 一郎	○					固形腫瘍の化学療法	副部長
	坂本 佳治				▲			
脳神経内科	山中 青未							
	北山 次郎	○			○			部長
	石東 光司		○			○	脳卒中・神経疾患	
	岡田 卓也			○				
膠原病内科	佐原 範之							
	井上 靖	▲	○	○				部長
	田中 淳	○			○		膠原病	
感染症内科	石田 利央子							
	石丸 敏之		○			○	感染症一般	副院長
	中澤 愛美							
外科	後藤 健志				●		※本は紹介は可、金は午後のみ	
	寺坂 禮治							院長
	中房 祐司		○					副院長
	永井 英司		○		○			副院長
	本山 健太郎	○	▲		○			部長
	小島 雅之		○		○			部長
	上田 純二		○		○			部長
	井上 重隆		○		○		一般外科	部長
	小倉 康裕		○		○	○	消化器外科、肝胆膵外科	部長
	栗井 公輔		○		○	○	乳房・内分泌外科	部長
	錦 建宏		○		○		呼吸器外科	部長
	安井 隆晴		○		○		腹腔鏡下・胸腔鏡下手術	部長
	永松 伊織		○		○	○	腎移植、腎不全外科	部長
	松田 圭央		○		○		ERCP、PTCD、EST	部長
	鬼塚 哲	○	○	○	○	○		副部長
	佐藤 瑛		○		○			
	松本 昂		○		○			
心臓血管外科	乳 腺 担当	○	○	○	○			
	小江 雅弘		○		○		心臓外科、大動脈瘤	部長
	森重 翔二		▲		▲		血管外科 ※火・木のみ	
脳神経外科	森 仁	○			○			部長
	吉岡 努				○		脳神経外科疾患	部長
	平田 陽子		○					
	埴本 僚太	▲	▲		▲	▲	※水は手術日です	

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○		一般、尋常性乾癬	部長
	森澤 紘美	○	○	○	○		アトピー性皮膚炎 ※月は10時まで、再診は完全予約制	
眼科	大石 誠一郎	○	交替制	○	交替制		糖尿病性網膜症	部長
	三股 政英	○		○	○		白内障、緑内障 ※火・木は10時まで、再診は完全予約制	
	非常勤						※1・3・5火曜日は新患のみ	
整形外科	泊 真二	○					脊椎・脊髄外科	副院長
	伊藤 康正	○		○			関節外科・リウマチ外科	部長
	加藤 剛	○					脊椎・脊髄外科	部長
	由布 竜矢	○		○			膝関節・脊椎外科・一般	副部長
	安原 隆寛	○					手の外科・外傷・一般	
	岩田 真一郎			○				
	手島 鋭	○		○			※木は10時まで、火は手術日です	
産婦人科	西田 真	婦			婦	産		部長
	遠城 幸子	産婦	産	婦	婦			部長
	栗原 秀一	産	産	婦	婦			副部長
	芥川 秀之	婦	産	婦	婦		周産期	
	安藤 真理子	婦	産婦	産婦	産婦		悪性腫瘍、良性腫瘍	
	和田 智子	婦	産婦	産	産		腹腔鏡手術	
	吉田 優	産	産	婦	産婦			
	結城 光太郎	産婦			産婦			
	泉 りりこ	産婦			産婦			
	清水 達哉						※火・木は10時まで	
小児科	波多江 健	○		○		○	腎疾患	部長
	久保 鋭治			○		○	新生児	部長
	小野山さの	○				○	感染症	副部長
	松倉 幹		○		○		神経	
	西村 真直		○		○		一般・腎疾患	
	中尾 泰介						一般	
	原田 頌隆						一般	
	非常勤(神経再来)						神経 ※予約制、午前中のみ	
耳鼻咽喉科	非常勤(循環器再来)			○			循環器 ※予約制、午前中のみ	
	高岩 一貴	○	○		○			副部長
	原 奈津貴	○			○	交替制	耳鼻科一般	
	鈴木 智陽	○	○		○	交替制	※水・金は10時まで ※月・水の原医師は午前中 ※金の非常勤医師は午前中	
形成外科	非常勤					○		
	濱田 裕一	○		○			再建外科・リンパ管外科・先天性疾患・顎顔面	部長
泌尿器科	清島 圭二郎		●	●		○	尿路結石	部長
	秋武 正和	交替制	○	○		●	排尿機能障害	副部長
	小林 武		○	●	●		尿路感染症	
	伊藤 大輔	●			○		尿路性器腫瘍	
	福地 源司郎					▲	腹腔鏡手術	
精神科	非常勤						ロボット手術	
	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害	部長
歯科・歯科口腔外科	非常勤			●		●	※完全予約制、新患は月・水・金のみ	
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 ※再診は完全予約制	部長
放射線科(診断)	松尾 芳雄							部長
	川野 倫作						検査依頼(CT・MRI・R1等)のみ	
	新堀 裕子						電話予約制	
放射線科(治療)	楠 正興							
	松延 亮		○	○	○		放射線治療	部長
麻酔科	非常勤	○					※火は午前中のみ	
	生野 慎二郎							部長
	江口 明							部長
	迎 雅彦							部長
	楠本 剛						術中管理	副部長
	野口 紗織							
	白 陵永							
病理診断科	益山 敏幸							
	津田 利斐							
検査部	高山 梓							
	西山 憲一						人体病理一般	部長
救急科	北原 大地						検体検査管理	
	友尻 茂樹							部長
	荒武 憲司							副部長
	大矢 浩史						救急(各種中毒疾患含む)	副部長
	皆川 雄郷							
健診部	村瀬 美奈子							
	中塩 舞衣子							
健診部	大坪 俊夫						人間ドック・健康診断	部長

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。

●急患診療体制(平日時間外・休日)

平日時間外 17時～23時 } 内科系のみ診療
休日 8時30分～23時

※必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください。

小児科 平日(祝日除く)17時～19時30分 土曜日(祝日除く)9時～17時

●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)

※ただし、2019年は4/30(祝日)、5/3(祝日)を開院日とし、8/15(木)を休診日といたします。

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211 (代表)